



平成27年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【大野北地区】

平成28年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1 大野北地区子ども・宇宙・夢プロジェクト	大野北地区子ども・宇宙・夢事業	JAXA相模原キャンパスの玄関口であり、「宇宙にいちばん近いまち」を体現するため、JAXA等、宇宙と繋がりのある方々と連携して、地域の子どもたちにJAXAや宇宙への関心を持ってもらう機会を拡充したいと考えた。	地域の青少年の夢と希望が膨らむようなイベントを、大野北地区自治会連合会と大野北青少年健全育成協議会がJAXA相模原キャンパスの協力を得て、子どもたちとその保護者に提供し、宇宙に対する夢を持ってもらうことを目的とする。	JAXAが共催しているライトダウンキャンペーンを、旧暦の七夕の日である8月2日に 銀河まつり会場内で実施する。併せて、宇宙や星に関連する音楽の演奏会と、JAXA相模原キャンパスの協力の下で、星空を見ながら宇宙や星の解説を聞いてもらうなどの「子どもを対象にした」天体観測会を開催する。 JAXA相模原キャンパスの協力の下で、子どもを対象に地域の小学校の校庭にて星空観望会を開催する。	7月24日	650,000	650,000	650,000
2 宇宙福豆で福よこい実行委員会	宇宙福豆で福よこい	大野北地区はJAXA相模原キャンパスへの最寄り駅がある環境から、さまざまな機会を通じてJAXAと連携した地域の事業が始まっている。一方、大野北地区では近年数多くの中高層マンションが建設され、地区内人口が約6万人となり、賑わいが増す反面人と人の繋がりが希薄になりつつあるまちとなっている。 そこで、国民の関心が高い「はやぶさ2」に関する事業と、伝統的行事の「豆まき」とを融合させた事業を通して、人と人とのつながりや交流の広がり、そして地域連帯の重要性への理解を深めたいとの思いでこのイベントを開催したいと感じた。	子どもたちに宇宙に対する関心と、郷土の施設がその中心的機関であることを知ってもらうこと、地場の産物を活用することで地域愛を育む。 集合住宅での生活上の規制や家族形態の変化によって経験や継承がされ難くなった「豆まき」の意味を知ってもらう。 事業で時間と体験を共有することで、人と人の繋がりと地域の輪の広がりを図る。	「はやぶさ2」を宇宙に運んだH2Aロケットに見立てたビニール袋の中に、宇宙に行った「津久井大豆」を中に入れ、そのロケットを飛ばすことで、邪気を追い払い一年の無病息災をみんなで願う。 また、それに先立ちJAXAの先生による宇宙の話や宇宙に因んだ楽曲のコンサートで、楽しく、そして子供たちの思い出として心にいつまでも残り続ける時間を作り上げていく。	12月1日	350,000	350,000	350,000
3 大野北地区コミュニティバス利用促進協議会	大野北地区コミュニティバス利用促進事業	平成26年2月の実証運行開始から本格運行に移行するためには、1便あたりの利用人員が10人以上であること等の条件があり、その条件をクリアするため、地域住民が率先して、利用促進のPRを行ない、気運を高めていかなければならないと感じた。 また、平成28年2月1日の運行ルートとダイヤの変更についての周知も重要な事柄である。	コミュニティバスの利用促進策を地域住民で考えるため、平成25年5月に利用促進協議会を発足し、交通不便地区における高齢者等の移動制約者の生活交通を確保するとともにコミュニティバスを継続運行させ、地域の活性化を図ることを目的とする。	地区内のイベント等の際にコミュニティバスの利用促進PR活動を行う。また、利用促進のPRをするためチラシのポスティング等を行なう。	12月21日	800,000	800,000	800,000

団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
4 ふちのべはやぶさ寄席実行委員会	ふちのべはやぶさ寄席	大野北地区はJAXA相模原キャンパスへの最寄り駅がある環境から、さまざまな機会を通じてJAXAと連携した地域の事業が始まっている。宇宙や「はやぶさ2」を題材とした寄席を通じて、これらのことを地域住民に「楽しく」「わかりやすい」形で造詣を深めてもらい、以って人とまちと宇宙をつなぐことを体現していくことが必要と考えた。	地域住民に宇宙に対する関心と、郷土の施設がその中心的機関であることを知ってもらう。地域に隣接している大学と地域住民との交流を深める。	桜美林大学落語研究部とJAXA相模原キャンパスとが協働して寄席を実施。なお、実施にあたっては老人クラブに働きかけることとする。 ・古典落語 ・「宇宙」や「はやぶさ2」に因んだオリジナル演目と大喜利	12月25日	150,000	150,000	150,000
5 大野北地区自治会連合会特別キャンペーン実行委員会	大野北地区自治会活動活性化特別キャンペーン事業	自治会は地域住民の親睦や生活環境の維持、高齢者や子どもの安全対策に取り組み、地域の諸団体や行政と連携して地域課題の解決を図り、安全で安心して暮らせる地域づくりをめざしている。しかしながら、自治会員の高齢化等により、役員の担い手不足による活動の低下や退会に至る事態が懸念される。そこで、「自治会」というものに違う方向から光を当て、活動による自己充実感や役立ち感といった会員の内面の活性化を図り、自治会の維持力を高める必要がある。また、そのような活動を自治会外に発信することによって自治会未加入者にその情報を届け、加入促進の一助となるように努める必要を感じた。	自治会退会を未然に防ぎ、地域の安全で安心して暮らせる地域づくりを維持する。その過程において、加入促進に繋がる自治会活動のPRを行うなど、新規加入の促進を行う。	(新)自治会情報マップ ・全戸配布 地区内全戸配布 約15,000世帯 (数字は配布可能実績数・実世帯総数は約30,000世帯) ・事業等での配布 5,000部 鹿沼公園さくらまつり会場内 加入促進キャンペーンの実施	1月15日	800,000	800,000	800,000
6 青山学院大学箱根駅伝優勝祝賀会実行委員会	青山学院大学箱根駅伝優勝祝賀会事業	大野北地区内にある青山学院大学相模原キャンパスが、箱根駅伝総合優勝2連覇を果たした同大陸上競技部の拠点であることに因み、地域をあげてお祝いをする気運が高まっている。	大野北地区は、学生と地域の団体や商店街との繋がりが非常に強い地域であり地域をあげて同大学の箱根駅伝優勝を祝福し、選手の健闘を称えと共に地域の絆を深める。	街頭お披露目式 ・主催者あいさつ ・来賓あいさつ ・青山学院大学陸上競技部 優勝報告 ・原監督あいさつ ・選手代表あいさつ ・選手紹介 ・記念品贈呈 ・応援団 チアリーダー披露	1月15日	250,000	250,000	250,000
						3,000,000	3,000,000	3,000,000